

市の出資等に係る法人の
経営状況に関する説明書

令和8年6月

射 水 市

市の出資等に係る法人の経営状況に関する説明書について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、市の出資等に係る法人の経営状況に関する説明書を提出します。

令和8年6月9日

射水市長 夏野元志

目 次

射水市土地開発公社	1
一般財団法人 射水市公園等管理業務公社	4
公益財団法人 射水市絵本文化振興財団	7
公益財団法人 射水市文化振興財団	10
公益財団法人 射水市スポーツ協会	13
万葉線株式会社	17

※各数値は表示単位未満を端数処理したもので記載しており、合計数値等と一致しないことがある。

※一般財団法人及び公益財団法人については、下記のとおり読み替えること。

- (貸借対照表) ・「指定正味財産」→「純資産」
- ・「一般正味財産」→「利益剰余金」
- (損益計算書) ・「正味財産増減計算書」→「損益計算書」
- ・「当期一般正味財産増減額」→「当期損益」

射水市土地開発公社

1 令和7年度事業報告

(1) 事業実績

ア 開発事業用地取得事業

海竜町第二期土地区画整理事業において、1区画分448.41㎡を
948万7,290円で売却した。

イ 土地造成事業

(ア) 造成地賃貸事業

七美工業団地整備事業において、ケーファクトリー株式会社に3,306.15㎡を、
北晃工業有限会社に1,302.85㎡を、BLD Power Stations 株式会社に
9,646.25㎡を賃貸しており、**341万5,815円**の貸付収入があった。

また、稲積リバーサイドパーク用地取得造成事業において、ORソーラー・ナイン合
同会社に37,090.33㎡を賃貸しており、**1,479万9,036円**の貸付収入
があった。

なお、七美、稲積ともに昨年度から賃貸面積の増減は無かった。

(イ) 完成土地等造成事業

小杉インターパーク造成事業において、測量試験費として**59万7,300円**、工事
費として**5,605万4,900円**、支払利息として**322万4千円**を支出した。

ウ 附帯等事業

保有土地を電柱等で一時的に貸し付けており、海竜町第二期土地区画整理事業において
1,740円、小杉インターパーク造成事業において**6万8,080円**、沖塚原企業団地
造成事業において**1万6,020円**の貸付収入があった。

(2) 損益計算書

令和7年4月 1日から
令和8年3月31日まで
(単位：千円)

費用の部				収益の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
事業原価	8,036	401,598	△393,562	事業収益	27,788	503,408	△475,620
開発事業用地取得事業原価	8,036	19,399	△11,364	開発事業用地取得事業収益	9,487	22,943	△13,456
土地造成事業原価	-	382,199	△382,199	土地造成事業収益	18,215	480,171	△461,956
販売費及び一般管理費	1,151	1,435	△284	附帯等事業収益	86	294	△208
経費	1,151	1,435	△284	事業外収益	918	1,137	△219
うち人件費	-	-	-	受取利息	18	0	18
事業外費用	19,172	19,799	△627	補助金	900	900	-
支払利息	957	1,584	△627	国補助金	-	-	-
雑損失	18,215	18,215	-	県補助金	-	-	-
				市補助金	900	900	-
				雑収益	-	237	△237
小 計	28,358	422,832	△394,474	小 計	28,706	504,545	△475,839
収益費用差引額(純利益)	348	81,713	△81,365				
合 計	28,706	504,545	△475,839	合 計	28,706	504,545	△475,839

【参考】

・前年度以前の事業収益

令和4年度	42,370千円
令和5年度	835,910千円
令和6年度	503,408千円

(3) 貸借対照表

令和8年3月31日現在
(単位：千円)

資 産 の 部				負債及び資本の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
流動資産	1,218,679	1,795,833	△577,154	流動負債	20,493	59,995	△39,502
現金及び預金	178,410	412,899	△234,489	未払金	3	4	△2
事業未収金	-	394,506	△394,506	預り金	13,091	52,591	△39,500
市街地開発用地	13,717	21,753	△8,036	前受収益	7,400	7,400	-
完成土地	573,632	573,632	-	固定負債	979,000	1,517,000	△538,000
開発中土地	452,919	393,043	59,876	長期借入金	979,000	1,517,000	△538,000
固定資産	1,026,241	1,026,241	-	資本金	8,000	8,000	-
投資その他の資産	1,026,241	1,026,241	-	基本財産	8,000	8,000	-
				準備金	1,237,427	1,237,079	348
				前期繰越準備金	1,237,079	1,155,366	81,713
				当期純利益	348	81,713	△81,365
合 計	2,244,920	2,822,074	△577,154	合 計	2,244,920	2,822,074	△577,154

2 令和8年度事業計画

(1) 事業の目的

地域の秩序ある整備を図るために必要な公有地となるべき土地の取得、造成、管理及び処分等を行うことにより、市民の福祉の増進に寄与する。

(2) 事業計画

ア 開発事業用地取得事業（96区画中94区画売却済）

海竜町第二期土地区画整理事業において、2区画分812.86㎡を重点売却目標とし、**1,621万4千円**を計上する。

イ 土地造成事業

(ア) 造成地賃貸事業

七美工業団地整備事業において、14,255.25㎡を**341万6千円**で貸し付けし、稲積リバーサイドパーク用地取得造成事業において、37,090.33㎡を**1,479万9千円**で貸し付ける。

(イ) 造成地売却事業

沖塚原企業団地造成事業において、33,821.35㎡を3社に売却する計画とし、**6億9,333万8千円**を計上する。

(ウ) 完成土地等造成事業

小杉インターパーク造成事業において、測量試験費として**2,160万円**、工事費として**1億50万円**、支払利息として**645万円**を計上する。

(3) 予定損益計算書

令和8年4月 1日から

令和9年3月31日まで

(単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	当年度予定額	科目	当年度予定額
事業原価	587,351	事業収益	733,353
開発事業用地取得事業原価	13,718	開発事業用地取得事業収益	16,214
土地造成事業原価	573,633	土地造成事業収益	711,553
販売費及び一般管理費	4,000	附帯等事業収益	5,586
経費	4,000	事業外収益	932
うち人件費	-	受取利息	32
事業外費用	23,558	補助金	900
支払利息	5,343	国補助金	-
雑損失	18,215	県補助金	-
		市補助金	900
小計	614,909	小計	734,285
収益費用差引額(純利益)	119,376		
合計	734,285	合計	734,285

一般財団法人 射水市公園等管理業務公社

1 令和7年度事業報告

(1) 事業実績

ア 公園緑地等管理事業

都市公園の維持管理や児童公園の遊具点検・修理等を**5,092万1千円**で受託し事業を実施した。

イ 太閤山ランド維持管理事業

県民公園太閤山ランドの芝生管理やごみ収集・トイレ清掃等を**7,122万6千円**で受託し維持管理を実施した。

ウ スポーツ施設管理事業

歌の森運動公園多目的グラウンドや野球場・テニスコート等の除草・芝生管理等を**1,594万円**で行った。

エ 建物施設等管理事業

小杉駅南口トイレの維持管理や市有地の除草管理等を**1,273万9千円**で実施した。

(2) 正味財産増減計算書 (損益計算書)

令和7年4月 1日から

令和8年3月31日まで

(単位:千円)

費用の部				収益の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
経常費用	155,236	151,309	3,927	経常収益	154,979	150,893	4,086
管理費	33,618	36,320	△2,702	基本財産運用益	16	-	16
うち人件費	17,572	21,124	△3,552	特定資産運用益	23	5	18
事業費	121,618	114,989	6,629	事業収益	150,826	146,195	4,631
				受取補助金等	3,350	4,693	△1,343
				国補助金	-	-	-
				県補助金	-	-	-
				市補助金	3,350	4,693	△1,343
				雑収益	763	-	763
				経常外収益	900	1,000	△100
小 計	155,236	151,309	3,927	小 計	155,878	151,893	3,985
当期一般正味財産増減額	643	584	59				
合 計	155,878	151,893	3,985	合 計	155,878	151,893	3,985

【参考】 前年度以前の事業収益

令和4年度 142,410千円

令和5年度 144,150千円

令和6年度 146,195千円

(3) 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:千円)

資 産 の 部				負債及び正味財産の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
流動資産	9,200	8,025	1,175	流動負債	9,200	8,025	1,175
現金及び預金	4,370	4,529	△159	未払金	8,738	7,459	1,279
未収金	4,830	3,496	1,334	預り金	463	566	△103
固定資産	33,242	32,599	643	正味財産	33,242	32,599	643
基本財産定期預金	10,000	10,000	-	指定正味財産	10,000	10,000	-
特定資産	16,024	14,945	1,079	一般正味財産	23,242	22,599	643
その他固定資産	7,218	7,654	△436				
合 計	42,442	40,624	1,818	合 計	42,442	40,624	1,818

2 令和8年度事業計画

(1) 事業の目的

射水市の都市公園施設等の維持管理並びに県民公園太閤山ランド及びその他公共施設の維持管理業務を適切かつ効率的に行い、もって市民の福祉の向上に寄与する。

(2) 事業計画

ア 公園緑地等管理事業

都市公園の維持管理や児童公園の遊具点検・修理等を**5,467万5千円**で受託し、事業を行う。

イ 太閤山ランド維持管理事業

県民公園太閤山ランドの芝生管理やごみ収集・トイレ清掃等を**7,509万4千円**で受託し、維持管理を行う。

ウ スポーツ施設管理事業

歌の森運動公園多目的グラウンドや野球場・テニスコート等の除草・芝生管理等を**1,610万7千円**で行う。

エ 建物施設等管理事業

小杉駅南口トイレの維持管理や市有地の除草管理等を**1,354万1千円**で行う。

(3) 予定正味財産増減計算書（損益計算書）

令和8年4月 1日から

令和9年3月31日まで

(単位：千円)

費用の部		収益の部	
科 目	当年度予定額	科 目	当年度予定額
経常費用	162,656	経常収益	161,880
管理費	35,493	基本財産運用益	2
うち人件費	21,005	特定資産運用益	1
事業費	127,163	事業収益	159,417
		雑収益	12
		補助金収益	2,448
		国補助金	-
		県補助金	-
		市補助金	2,448
小 計	162,656	小 計	161,880
当期一般正味財産増減額	△776		
合 計	161,880	合 計	161,880

公益財団法人 射水市絵本文化振興財団

1 令和7年度事業報告

(1) 事業実績

ア 施設維持管理

大島絵本館及びふれあいパークの施設管理を行った。

2, 542万8, 454円

イ イベント事業

絵本原画展、手づくり絵本コンクール、いのちの絵本、クリスマスコンサート、人形劇、カフェギャラリー展示、大人の絵本時間等のイベントを開催した。

632万6, 169円

ウ 創作活動事業

創作教室、ワークショップ、製本教室、出前講座等を行った。

188万3, 122円

エ 広報、情報提供事業

情報誌「マグちゃん通信」の隔月発刊、マスコミ・市広報等への情報発信を行った。

758万5, 951円

オ その他

シアター等の貸館や、カフェ・ショップの運営等を行った。

256万2, 834円

(2) 正味財産増減計算書 (損益計算書)

令和7年4月 1日から

令和8年3月31日まで

(単位:千円)

費用の部				収益の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
経常費用	103,552	102,001	1,551	経常収益	105,536	100,999	4,537
管理費	30,922	29,435	1,487	基本財産利息収入	38	55	△17
事業費	21,764	20,946	817	事業収入	9,153	9,874	△722
人件費	50,866	51,620	△754	入館料等収入	4,815	5,383	△568
				受託事業収入	91,492	80,784	10,708
				補助金等収入	-	4,677	△4,677
				国補助金	-	-	-
				県補助金	-	-	-
				市補助金	-	4,677	△4,677
				雑収入	39	226	△187
小 計	103,552	102,001	1,551	小 計	105,536	100,999	4,537
当期一般正味財産増減額	1,984	△1,002	2,986				
合 計	105,536	100,999	4,537	合 計	105,536	100,999	4,537

【参考】

- ・次期繰越収支差 4,422 千円
- ・前年度以前の事業収益 (事業収入+入館料等収入)
 - 令和4年度 13,114 千円
 - 令和5年度 13,572 千円
 - 令和6年度 15,257 千円

(3) 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:千円)

資 産 の 部				負債及び正味財産の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
流動資産	20,020	15,910	4,110	流動負債	9,136	7,010	2,125
現金及び預金	13,381	7,950	5,431	未払金	8,930	6,788	2,142
未収金	177	592	△415	預り金	206	222	△16
貯蔵品	6,462	7,368	△906	正味財産	88,259	86,275	1,984
固定資産	77,375	77,375	-	指定正味財産	77,000	77,000	-
基本財産定期預金	77,000	77,000	-	一般正味財産	11,259	9,275	1,984
その他固定資産	375	375	-				
合 計	97,395	93,285	4,110	合 計	97,395	93,285	4,110

2 令和8年度事業計画

(1) 事業の目的

絵本文化・芸術等の振興及び児童の健全な育成に関する事業を行い、もって創造性豊かで潤いのある市民生活の実現と地域社会の発展に寄与する。

(2) 事業計画

ア 施設維持管理

射水市大島絵本館及びふれあいパークの施設管理を行う。

2, 654万3千円

イ イベント事業

絵本原画展、手づくり絵本コンクール、いのちの絵本、コンサート、カフェギャラリー展示、大人の絵本時間等のイベントを開催する。

708万4千円

ウ 創作活動事業

創作教室、ワークショップ、製本教室、出前講座等を行う。

171万3千円

エ 広報、情報提供事業

絵本館の施設パンフレット制作や、情報誌「マグちゃん通信」の発刊、広報等への情報発信を行う。

734万7千円

オ その他

ライブラリーの蔵書購入や、カフェ・ショップの運営等を行う。

322万3千円

(3) 予定正味財産増減計算書（損益計算書）

令和8年4月 1日から

令和9年3月31日まで

(単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
	当年度予定額		当年度予定額
経常費用	106,736	経常収益	106,736
管理費	31,543	基本財産利息収入	254
事業費	22,130	事業収入	9,550
人件費	53,063	入館料等収入	5,400
		受託事業収入	91,492
		補助金等収入	—
		国補助金	—
		県補助金	—
		市補助金	—
		雑収入	40
小計	106,736	小計	106,736
当期一般正味財産増減額	0		
合計	106,736	合計	106,736

公益財団法人 射水市文化振興財団

1 令和7年度事業報告

(1) 事業実績

ア 施設維持管理

新湊中央文化会館、小杉文化ホール、大門総合会館及び正力・小林記念館の施設管理を行う。

1億9,629万9,399円

イ 主催・共催公演事業

新湊中央文化会館、小杉文化ホール、大門総合会館において、我が国の伝統的な文化芸能や、現代の舞台芸術・芸能等の市民の興味関心を引き出す公演や質の高い公演を行う。

3,156万771円

ウ 市民の芸術文化活動支援及び普及事業

市民や団体または市ゆかりのアーティストの発表会等の開催やアウトリーチコンサート、ワークショップ等の市民が気軽に参加できる体験等の事業を実施する。

305万9,784円

エ 広報、情報発信事業

情報誌の発行やマスコミ・市広報等での情報発信を行う。

177万7,938円

オ ホールの魅力向上事業

ホールの魅力を発見する、バックヤードツアー等の体験事業のほか、市民の教養の向上や生活文化の振興につながる講座等の開催、公演チケットを先行・割引購入できるホールメイト事業を実施する。

16万7,456円

(2) 正味財産増減計算書（損益計算書）

令和7年4月 1日から

令和8年3月31日まで

（単位：千円）

費用の部				収益の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
経常費用	315,648	282,745	32,903	経常収益	327,429	284,283	43,146
管理費	201,776	191,157	10,619	基本財産運用収入	97	8	89
事業費	36,763	17,822	18,941	事業収入	29,790	11,335	18,455
人件費	77,109	73,766	3,343	入館料等収入	49,669	46,353	3,316
				受託事業収入	175,638	192,268	△16,630
				補助金収入	61,704	23,520	38,184
				国補助金	-	-	-
				県補助金	-	-	-
				市補助金	61,704	23,520	38,184
				雑収入	10,531	10,799	△268
小 計	315,648	282,745	32,903	小 計	327,429	284,283	43,146
当期一般正味財産増減額	11,781	1,538	10,243				
合 計	327,429	284,283	43,146	合 計	327,429	284,283	43,146

【参考】

- ・次期繰越収支差 64,093千円
- ・前年度以前の事業収益（事業収入＋入館料等収入）
 - 令和4年度 72,362千円
 - 令和5年度 66,763千円
 - 令和6年度 57,688千円

(3) 貸借対照表

令和8年3月31日現在

（単位：千円）

資 産 の 部				負債及び正味財産の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
流動資産	88,055	75,574	12,481	流動負債	23,962	23,262	700
現金及び預金	87,214	74,655	12,560	未払金	23,852	18,071	5,781
未収金	841	919	△79	預り金	-	5,106	△5,106
固定資産	46,270	46,270	-	前受金	110	85	25
基本財産定期預金	46,270	46,270	-	正味財産	110,363	98,582	11,781
				指定正味財産	46,270	46,270	-
				一般正味財産	64,093	52,312	11,781
合 計	134,325	121,844	12,481	合 計	134,325	121,844	12,481

2 令和8年度事業計画

(1) 事業の目的

優れた芸術文化公演事業を多彩に開催し、住民主体の芸術文化活動を育成・支援し、市の芸術文化の振興を図り、もって個性と魅力あふれる地域文化の創造と心豊かな人づくりに寄与する。

(2) 事業計画

ア 施設維持管理

新湊中央文化会館、小杉文化ホール、大門総合会館及び正力・小林記念館の施設管理を行う。

1億9,987万7千円

イ 主催・共催公演事業

新湊中央文化会館、小杉文化ホール、大門総合会館において、我が国の伝統的な文化芸能や、現代の舞台芸術・芸能等の市民の興味関心を引き出す公演や質の高い公演を行う。

2,748万7千円

ウ 市民の芸術文化活動支援及び普及事業

市民や団体または市ゆかりのアーティストの発表会等の開催やアウトリーチコンサート、ワークショップ等の市民が気軽に参加できる体験等の事業を実施する。

448万7千円

エ 広報、情報発信事業

情報誌の発行やマスコミ・市広報等での情報発信を行う。

219万円

オ ホールの魅力向上事業

ホールの魅力を発見する、バックヤードツアー等の体験事業のほか、市民の教養の向上や生活文化の振興につながる講座等の開催、公演チケットを先行・割引購入できるホールメイト事業を実施する。

64万8千円

(3) 予定正味財産増減計算書（損益計算書）

令和8年4月 1日から
令和9年3月31日まで
(単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	当年度予定額	科目	当年度予定額
経常費用	322,587	経常収益	322,737
管理費	204,006	基本財産運用収入	60
事業費	35,772	事業収入	22,119
人件費	82,809	入館料等収入	45,800
		受託事業収入	180,641
		補助金収入	63,330
		国補助金	-
		県補助金	-
		市補助金	63,330
		雑収入	10,787
小計	322,587	小計	322,737
当期一般正味財産増減額	150		
合計	322,737	合計	322,737

公益財団法人 射水市スポーツ協会

1 令和7年度事業報告

(1) 事業実績

ア 施設維持管理事業

海竜スポーツランド、サン・ビレッジ新湊の施設管理を行った。

8,799万8,413円

イ 大会開催事業

受託事業である射水市民スポーツ大会及び自主事業としてスポーツロゲイニングを開催した。

342万3,415円

ウ 競技団体等活動助成事業

競技団体・地区（校下）体育、スポーツ協会への活動助成を行った。

505万800円

エ 選手派遣事業

富山県民スポーツ大会への選手派遣を行った。

67万2,900円

オ スクール事業

スポーツ施設の有効活用を図るとともに市民の健康、体力の向上及び生きがいづくりに寄与するため、各種スクールを実施した。

3,312万2,431円

カ 地域運動部活動推進事業

休日の中学校部活動を地域移行するため各種競技団体に指導を依頼しモデル事業として実施した。

1,099万8,511円

(2) 正味財産増減計算書 (損益計算書)

令和7年4月 1日から
令和8年3月31日まで
(単位：千円)

費用の部				収益の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
経常費用	165,882	160,516	5,366	経常収益	174,250	156,431	17,819
管理費	13,107	15,056	△1,949	基本財産運用益	194	192	2
うち人件費	8,947	10,486	△1,539	受取入会金	306	216	90
事業費	152,775	145,460	7,315	受取会費	540	550	△10
うち人件費	60,698	58,185	2,513	事業収益	142,627	111,575	31,052
				受講料等収益	69,081	61,672	7,409
				受取補助金等	27,334	33,850	△6,516
				国補助金	-	-	-
				県補助金	203	203	0
				市補助金	27,131	33,647	△6,516
				受取負担金	539	483	56
				雑収入	2,710	9,565	△6,855
小 計	165,882	160,516	5,366	小 計	174,250	156,431	17,819
当期一般正味財産増減額	8,368	△4,085	12,453				
合 計	174,250	156,431	17,819	合 計	174,250	156,431	17,819

【参考】

- ・次期繰越収支差 26,354 千円
- ・前年度以前の事業収益
 - 令和4年度 47,659 千円
 - 令和5年度 56,996 千円
 - 令和6年度 61,672 千円

(3) 貸借対照表

令和8年3月31日現在
(単位：千円)

資 産 の 部				負債及び正味財産の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
流動資産	35,940	26,702	9,238	流動負債	9,586	8,716	870
現金及び預金	28,825	21,170	7,654	未払金	8,696	7,738	958
未収金	7,115	5,532	1,584	預り金	890	978	△88
固定資産	85,000	85,000	-	正味財産	111,354	102,986	8,368
基本財産(定期預金)	10,000	10,000	-	指定正味財産	85,000	85,000	-
基本財産(有価証券)	75,000	75,000		一般正味財産	26,354	17,986	8,368
合 計	120,940	111,702	9,238	合 計	120,940	111,702	9,238

2 令和8年度事業計画

(1) 事業の目的

射水市民へのスポーツ活動の普及・振興を通して活力あるまちづくりを推進するとともに、選手の育成並びに競技力の向上を図る。

(2) 事業計画

ア 施設維持管理事業

海竜スポーツランド、サン・ビレッジ新湊の施設管理を行う。

8, 875万6千円

イ 大会開催事業

受託事業である射水市民スポーツ大会及び自主事業としてスポーツロゲイニングを開催する。

354万4千円

ウ 競技団体等活動助成事業

競技団体・地区（校下）体育、スポーツ協会への活動助成を行う。

518万3千円

エ 選手派遣事業

富山県民スポーツ大会への選手派遣を行う。

83万8千円

オ スクール事業

スポーツ施設の有効活用を図るとともに市民の健康、体力の向上及び生きがいをづくりに寄与するため、各種スクールを実施する。

3, 838万2千円

カ 部活動地域展開事業

休日の中学校部活動を地域移行するため各種競技団体に指導を依頼し地域展開事業として実施する。

3, 022万円

(3) 予定正味財産増減計算書（損益計算書）

令和8年4月 1日から
令和9年3月31日まで
(単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	当年度予定額	科目	当年度予定額
経常費用	199,631	経常収益	197,120
管理費	14,912	基本財産運用益	571
うち人件費	9,774	受取入会金	303
事業費	184,719	受取会費	550
うち人件費	65,547	事業収益	166,155
		受講料等収益	92,609
		受取補助金等	25,992
		国補助金	-
		県補助金	203
		市補助金	25,789
		受取負担金	700
		受取寄附金	-
		雑収益	2,849
小計	199,631	小計	197,120
当期一般正味財産増減額	△2,511		
合計	197,120	合計	197,120

万葉線株式会社

1 令和7年度事業報告

(1) 事業実績

ア 営業面について

物価高騰による影響に加え、人件費の高騰や燃料費の高止まりなど、万葉線を取り巻く環境は極めて厳しい状況にある。

このような中、射水、高岡両市をはじめ、「万葉線対策協議会」、「万葉線を愛する会」など支援団体の協力を得て事業を展開する中、各種イベントの開催に合わせた復路無料券の配布による利用者数の回復に努め、加えてインバウンド利用の増加もあり、利用者は回復傾向にある。

また、アイトラム6編成を中心に快適で信頼される輸送の提供に取り組んできた。

イ 施設設備等の整備面について

安全運行を図るため、国や県、射水、高岡両市の支援のもと、越ノ潟～海王丸間の重軌条化工事や踏切保安設備工事の更新など施設整備・改良を実施した。

結果、当期の輸送人員は**121万9,708人**、営業収益は**2億1,688万4,958円**、営業損失は**2億1,051万3,835円**、経常損失は**2億502万8,213円**となった。

そして、国、県、射水市及び高岡市からの運行費補助金等を受け、最終的に当期利益は、**8万7,831円**を計上することとなり、繰越利益剰余金は**▲175万2,121円**となった。

(2) 損益計算書

令和7年4月 1日から
令和8年3月31日まで
(単位：千円)

費用の部				収益の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
営業費用	427,399	401,792	25,607	営業収益	216,885	211,687	5,198
うち人件費	225,479	209,829	15,650	旅客運輸収入	170,685	158,943	11,742
特別損失	135,823	560,181	△424,358	運輸雑収	46,200	52,744	△6,544
固定資産圧縮損	135,823	560,181	△424,358	営業外収益	5,486	1,180	4,306
除却費	-	-	-	受取利息	90	19	72
法人税等	329	329	-	雑収入	5,395	1,161	4,234
				特別利益	341,267	749,919	△408,652
				補助金	341,267	749,919	△408,652
				国補助金	33,293	154,531	△121,238
				県補助金	50,014	156,524	△106,510
				市補助金	257,960	438,864	△180,904
小 計	563,550	962,302	△398,752	小 計	563,638	962,786	△399,148
収益費用加算額(当期利益)	88	484	△396				
合 計	563,638	962,786	△399,148	合 計	563,638	962,786	△399,148

【参考】

・前年度以前の事業収益（営業収益）

令和4年度 182,290千円

令和5年度 194,184千円

令和6年度 211,687千円

(3) 貸借対照表

令和8年3月31日現在
(単位：千円)

資 産 の 部				負債及び資本の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)		当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
流動資産	278,444	366,287	△87,843	流動負債	164,509	261,379	△96,871
現金及び預金	49,912	53,776	△3,864	未払金	126,689	190,123	△63,434
商品	2,853	4,274	△1,421	未払費用	9,134	42,023	△32,889
貯蔵品	4,127	4,227	△100	前受金	7,269	7,260	9
前払費用	3,834	3,523	311	源泉預り金	117	301	△184
未収入金	205,364	287,099	△81,735	預り金	608	739	△131
未収運賃	12,355	13,388	△1,033	前受運賃	12,884	14,267	△1,383
固定資産	435,392	432,833	2,558	未払法人税等	329	329	-
建物	17,424	18,027	△603	賞与引当金	7,479	6,337	1,141
建物付属設備	2,163	2,219	△56	固定負債	118,323	106,825	11,499
構築物	46,872	49,115	△2,244	長期借入金	106,668	106,668	-
車両運搬具	51,533	45,550	5,984	補助金等受入金	11,655	157	11,499
器具備品	4,869	5,885	△1,016	株主資本	431,004	430,916	88
土地	309,924	309,924	-	資本金	100,000	100,000	-
建設仮勘定	-	-	-	その他資本剰余金	332,756	332,756	-
電話加入権	102	102	-	繰越利益剰余金	△1,752	△1,840	88
ソフトウェア	2,479	1,985	494				
長期前払費用	26	26	-				
合 計	713,836	799,120	△85,284	合 計	713,836	799,120	△85,284

2 令和8年度事業計画

(1) 事業の目的

射水、高岡両市の重要な生活路線であり、両市の魅力あるまちづくりに寄与し、各種団体等の支援と協力をいただきながら、国・県の施策と連携し、更なる利便性の向上を図り、快適で安定したサービスや信頼される輸送の提供を行う。

(2) 事業計画

ア 組織体制の見直しと運用方針の刷新について

全社員が運行を支えるという意識を徹底するため、管理部門（総務、経理）を含めた全部署を「運輸部」に統合し、旧来の組織体質の刷新と規律ある職場環境の確立に努める。さらに受動的な収益構造から脱却し、新規顧客開拓を行い、積極的な収益創出に取り組む。

また、「経営企画課」を新設し、運行時間の短縮シミュレーションのほか、運行本数の最適化を進めるにあたり、優先信号の導入、列車交換場所の新設などの検討・外部機関との交渉を進める。

イ 信頼される輸送の提供について

当社「安全管理規程」を基本に、事業運営上の安全管理体制の確立を図り、輸送の安全向上に努める。

全社員が運転・保守・点検等の知識・技術力を高め、お客様に安心してご利用いただけるよう安全で安定した輸送の提供に努める。

ウ 収入の確保と経費の節減について

地域の行催事においては、積極的かつ柔軟な運用に努め、新規企画・イベントの発掘や旅行業者等と連携し誘客に取り組み、収入の確保を図る。

既存のグッズ及び企画乗車券に加え、新商品の開発や販売協力店舗の拡充、ネット販売の充実に努める。

既存広告車両の営業の更なる推進を図り、広告料収入の増収を図る。

社員一人ひとりがコスト意識を持ち、日頃の業務上の無駄を排除し、業務の効率化・合理化を推進し経費削減に努める。

エ お客様に喜んでいただけるサービスの提供について

アイトラムやドラえもんトラムを効果的に運用するとともに、旧型車両を活用しながらICカード（ICOCA）の更なる普及など、旅客サービスの改善向上、乗客のサービス向上と利用増加を図る。

あいの風とやま鉄道やJR各路線との接続などにきめ細かに対応していくほか、沿線の観光施設等と連携した誘客商品の充実に努めるとともに、各種イベント時の復路無料乗車券の配布や企画電車の運行の拡充を進める。

(3) 予定損益計算書

令和8年4月 1日から
令和9年3月31日まで
(単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	当年度予定額	科目	当年度予定額
営業費用	419,034	営業収益	220,400
人件費	228,000	旅客収入	180,000
修繕費	125,104	運輸雑収	40,400
動力費	33,050		
経費	38,080	営業外収益	1,030
諸税	800	受取利息他	1,030
減価償却費	11,000		
特別損失	235,200	特別利益	433,104
固定資産圧縮損	235,200	補助金	433,104
		国補助金	-
		県補助金	-
法人税等	300	市補助金	433,104
小計	654,534	小計	654,534
収益費用加算額(当期利益)	0		
合計	654,534	合計	654,534